

# 保育料軽減制度のご案内

## (尼崎市ひょうご保育料軽減事業)

尼崎市と兵庫県では、子育て世帯の経済的な負担を減らし、子育てしやすい環境をつくるため、保育所や認定こども園などに通う0歳～2歳の子どもの保育料の一部を補助します。

### 対象

#### 【子どもの要件】

次の要件を満たす子どもの保育料が対象です。

- ・ 尼崎市内に住所があり、令和7年4月1日時点で2歳以下  
(令和4(2022)年4月2日以降の生まれ)

- ・ 市から保育認定を受け、保育所等の対象施設・事業を利用している

※国の規定に基づき、複数の子どもがいることによる優遇措置(保育料半額、無料)や要保護者等に該当することによる優遇措置(第1子保育料半額以下、第2子以降無料)を受けている場合は対象外です。



#### 【世帯の要件】

世帯合計の市民税所得割額が次の額未満の世帯が対象となります。

- ・ 第1子 : 57,700円未満
- ・ 第2子以降 : 155,500円未満 (ひとり親世帯等は、169,000円未満)

※4月～8月は令和6年度、9月～3月は令和7年度の市民税所得割額で判定します。

※「ひとり親世帯等」とは、ひとり親世帯、在宅障害児(者)のいる世帯、生活保護法に定める要保護者等特に困窮していると市長が認めた世帯です。

※住民税非課税世帯は、幼児教育・保育の無償化の対象となっているため対象外です。

### 対象期間

令和7年4月から令和8年3月まで

### 補助額

月額5,000円を超える保育料に対して、以下の補助基準額を上限に補助します。  
ただし、保育料の1/2と比較し、低い額を限度額とします。

#### 【補助基準額】

- ・ 第1子 : 10,000円
- ・ 第2子以降 : 15,000円

### 申請手続き

- ・ 軽減の対象となる方へ、令和8年1月末頃に補助金申請のご案内を送付いたします。
- ・ 補助金申請のご案内のQRコードより申請してください。
- ・ **令和8年2月20日(金)**までに申請してください。
- ・ 申請ができない場合は、下記の連絡先(尼崎市)までご連絡ください。

### お問い合わせ先

#### 【申請手続き、該当の確認等に関すること】

尼崎市保育児童部こども入所支援担当  
TEL 06-6489-6370  
(受付時間：平日8:45～17:30)

#### 【制度に関すること】

兵庫県福祉部こども政策課  
TEL 078-341-7711 内線2870  
(受付時間 平日9:00～12:00、13:00～17:30)

## 補助対象チェックリスト

- 子どもが、次の施設を利用している
  - ・ 保育所      ・ 認定こども園      ・ 小規模保育事業
- 子どもの年齢は、令和7(2025)年4月1日時点で0～2歳  
(誕生日が令和4(2022)年4月2日以降)
- 国の規定に基づき、複数の子どもがいることによる優遇措置（保育料半額、無料）、ひとり親世帯等の要保護者等に該当することによる優遇措置を受けていない

<保育所等を利用している子どものうち、最年長の子どもから順に2人目は半額、3人目以降は無料となります>



<年収360万円未満相当の世帯は、軽減措置が拡充されます。>



- 世帯合計の市民税所得割額が、次の額未満である
  - ・ 第1子      : 57,700円未満
  - ・ 第2子以降: 155,500円未満 (ひとり親世帯等は、169,000円未満)
- 月に5,000円を超える保育料を負担している

第1子保育料半額未満のため対象外



すべてに当てはまる場合、「尼崎市ひょうご保育料軽減事業」の対象です。表面に記載の申請手続きのとおり、申請してください。

## Q & A

- Q 途中入園でも対象になりますか。また、途中で退園した場合はどうなりますか。
- A 保育所等に在園している期間（入園した月から退園した月まで）が対象になります。ただし、保育料を日割り計算した結果、5,000円を下回る月は補助の対象外です。
- Q 「保育料」には何が含まれますか。
- A 保育料とは尼崎市が条例や規則等により決定しているものです。給食費や通園バス代など、各園が独自に徴収するものは、補助の対象外です。
- Q 軽減された保育料はいつ頃戻ってきますか。
- A 令和8年5月頃に口座振込により補助金を交付いたします。
- Q 保育料の補助額の計算方法は。
- A ①月額保育料－5,000円 ②補助基準額（第1子 10,000円、第2子 15,000円）  
③月額保育料の1/2 を比較し、最も低い額×対象月数を補助します。  
※1月あたりの補助額に100円未満の端数が出た場合は切り捨て
- 【例】・第1子で、保育料が月額24,000円の場合  
①… 19,000円 ②… 10,000円 ③… 12,000円 ⇒ 補助額10,000円
- ・第2子以降で、保育料が月額24,000円の場合  
①… 19,000円 ②… 15,000円 ③… 12,000円 ⇒ 補助額12,000円